

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年9月10日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4671500090
法人名	医療法人一桜会
事業所名	さくらのお家よしだ
所在地	鹿児島市東佐多町29-2 (電話) 099-245-5500
自己評価作成日	平成26年8月17日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成26年8月29日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様をご自分のペースで日々健やかに生活して頂けるよう日々努めております。特に力を入れている点ですが、季節を感じての生活を送って頂けるように努め、季節に応じた活動を利用者様にも勿論参加して頂き行ってまいります。たとえば、らっきょ漬け、梅干し作り、酢味噌作りなどはもちろんですが、花見・節句・七夕飾り・お節作り・敬老会・クリスマス会等など・・・昔から継承されている行事ごとを大切にしております。これらの事が生活の中で自然な事として表出され、利用者の方々に嬉々とした表情で参加して下さっております。それに加え、当ホームは庭がとても広くて、その事がアピールできます。広い庭でお茶会や、ご家族や地域の方々と夕涼み会など、ホーム内とは又違った雰囲気を楽しんで頂いております。クリスマスの時期には、イルミネーションを建物外部全体に飾りつけています。入居者様も「ほら！綺麗よ」と声をあげられています。利用者の方も好きな時に散歩や、グランドゴルフ等それぞれに楽しまれております。また当ホームは景色がとても良く、利用者の社交場であるリビングのソファから居ながらにして見える窓からの風景は大パノラマのようです。田んぼの様子だけでも四季を感じる事が出来ます。(春にはれんげの花・田植え・青く育つ稲・黄色に色づく稲穂) 季節の話題には事欠きません。利用者みなさんが、ユニット名のごとく、ゆったり、のんびりと過ごして頂ければと思っております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

・ホームは、山々や田畑に囲まれた立地にあり、鳥のさえずりや蝉の声、柿の実が早くも色づき様々な季節の気配を感じさせている。自然の移り変わりを五感で感じられる環境にあるため、普段からホームの広い庭に出て散歩したり、グランドゴルフなどしている。

・基本理念に「いきいきと、日々健やかに、楽しい暮らし」を掲げ、玄関や共有スペースなどに掲示して朝礼やミーティングなどで唱和し共有している。理念は、地域密着型サービスの意義を踏まえたものになっており職員に浸透している。

・地域の方から野菜の差し入れをもらったり、水害の時の緊急避難場所の提供、運営推進会議への出席、アコーディオンや三味線などのボランティアの受け入れなどにも協力して地域貢献し、積極的に交流して関係性を深めている。

・“のんびり”と“ゆったり”の2ユニットの利用者は互いのユニットを行き来して交流している。それぞれの職員も顔なじみの関係にあり、毎日の健康管理、医療との連携により安心して地域生活が継続していけるよう働きかけている。

・職員は法人の内部研修や外部研修会に積極的に参加して常に新しい情報を収集し、自己研鑽してケアに活かしている。母体は、医療機関であり、24時間連絡体制が取れ緊急時や夜間帯などの医療連携を密に取り、本人、家族の安心につながっている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念のサブタイトル「住み慣れた町で文化的な生活」下に理念の共有に努め、吉田文化祭への作品出展や福祉フェスタへ運営スタッフとしての参加など実践に繋げている	基本理念や住み慣れた地域で文化的な生活の実現に向けてなどサブ理念を、管理者や職員は朝礼やミーティングなどで共有し、理念は、地域の関係性を重視した理念になっており、それを大切に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近所の方との日常での挨拶はもちろんの事、幼稚園の運動会や鬼火焚きなど地域の行事にお誘いを頂いたり、当ホームの夕涼み会にも参加を頂いている。	ボランティア、中学生の職場体験の受け入れなどして地域貢献している。また、小中学校の卒業式への参加依頼があったり、地域の徘徊模擬訓練に参加するなどして地域交流している。利用者の体調を見て近隣の散歩もしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	吉田地域の地域密着型サービス事業所で「ひっちこ会」という連絡協議会を立ち上げ、地域貢献の為に活動中である。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に一回の会議の中で地域の方や長寿安心相談センターの職員、消防署、民生委員、ご家族よりご意見を頂きサービス向上に活かしている。	会議は定期的で開催され、家族が他県に居住している方も多いが、なるべく多くの参加ができるよう声かけしている。参加メンバーからの意見やアドバイスを受けて、質疑応答するなどして有意義な会議になっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	2か月に一回の会議の中で地域の方や長寿安心相談センターの職員、消防署、民生委員、ご家族よりご意見を頂きサービス向上に活かしている。	行政職員とは、関係性もよく、日頃から電話や面談などで連絡や相談をしている。待機者情報などはメールで連絡し連携を図っている。介護相談員は、年1回受け入れし、利用者も安心感を得ている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員として毎月委員会に出席し身体拘束をしないケアについて情報交換や勉強をしている。委員からスタッフへ伝達を行い、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	玄関は施錠せず自由に出入りができるようにし、近所の方など気軽に訪ねて来られるよう配慮している。定期的な勉強会にて身体拘束の弊害や、適切な対応など勉強会で知識を深め、実践している。外出傾向の方には、さりげなく寄り添い、安心して暮らしていただけるようケアしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束委員会にて虐待防止について話し合う機会を持ちスタッフが虐待防止について意識を持てるよう努めている。法人研修や外部研修に参加し虐待防止について学んでいる。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護や青年後見制度の機会はない		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時や改定の際は口頭で文面の内容説明を行い不安や疑問点を軽減出来る様に努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会等で意見や要望を述べる機会を作り、要望をお聞きし運営に反映させている。面会時など話しやすい環境作りにも努めている。	家族にはメールでやりとりする方もおられたり、毎月の請求書送付の時に、利用者情報を手紙と写真入りで報告している。また、家族が面会に来られた時、意見や要望が出しやすいよう雰囲気作りに努め、サービスの見直しやよりよいケアに繋げている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の主任会やミーティング等で職員の意見を述べる場を設け反映させている。	事業所運営やサービス提供については、月1回のミーティングに職員から提案や要望を聞くようにしている。出された意見は、法人に報告し解決策を検討している。人事考課システムがあり、年2回個人面談して職員、事業所の目標の達成に意識的に取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	人事考課制度があり面接などを行い個々の努力や実績など把握出来る様に努めている。各自が向上心を持って業務に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内で基礎研修、専門研修が年間計画で設けられている。外部研修等を受ける機会も設けられている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>代表者自体は自ら指示はないがスタッフ独自で交流を図り事後報告する事で、代表者は受容し称賛してくださる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人との面会を通じ本人の希望に耳を傾け安心した生活を確保できる体制作りに努めている ご本人の要望が出しやすくなる様に環境作りに配慮している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族との信頼関係作りが利用開始に必要な不可欠な事と認識しており、納得して頂けるようコミュニケーション作りに努めている。ご家族もサポートして行けるよう来訪時は話のしやすい雰囲気作りに努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前に出来る限り、ご本人ご家族のニーズを把握出来る様に関係部署との連携に努め情報収集を行いご本人、ご家族との面談に活かしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は、日々の暮らしの中で、その方の出来る事を把握し、自然な形での関わりで、対話に努めその方らしさが発揮出来る様に配慮している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人誕生会や行事等で一緒に過ごせる時間を作っている。また外出、外泊出来る様に家族と共に本人を支えていく関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご友人、親戚、馴染みの方などが面会に来やすい環境作りに努め、馴染みの場所や人を把握するようにスタッフは情報の共有に努めている。	近所付き合いや友人の訪問が気兼ねなくできるよう配慮している。また、自宅の庭にサワーポメロ、竹の子の収穫時期になると帰宅するのが年中行事になっている方もいて、職員が同行している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員は、常に利用者間の関係を把握し、トラブルを未然に防ぐ努力をして、お互いが楽しく生活出来る様に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了しても、相談等があった時は対応する準備がある。（再入居等）		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人と会話していく中で希望や意向を汲み取り実現に向けて支援している。自ら家族に電話で外泊や外出の希望を話される事もある。	利用者の言葉、しぐさ、表情などから意向を汲み取り、本人主体に支援している。意思疎通が困難な時には、コミュニケーションやスキンシップを図るよう心がけている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族や本人との会話の中で生活歴や馴染みの暮らし方の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの暮らし方や生活のリズムの把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	スタッフによるカンファレンス及びモニタリングを行い、家族との連携を図りながらご本人が生活しやすい様に介護計画に活かしている	利用者ごとの担当割はあるが、アセスメント、モニタリングについてはカンファレンスや個別ケース検討会議・職員全員で話し合いケアに取り組んでいる。計画は必要に応じて随時見直しをして、心身の状態などに合った計画を作成して、家族に説明し思いと意見や意向を反映したものになっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子やケアの実践、気づき等は、業務日誌や個別ケア記録に記入している。スタッフ間の情報共有、ケアプランの見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズには、対応しているが、多機能化出来てとは言えない。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	吉田文化祭に作品出展したり、地域の鬼火焚き参加等地域の方々と交流、またその事を話題に取り入れるなど豊かな暮らしに繋げている。また地域住民の方々との交流の場として夕涼み会の参加の声かけも行っている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	それぞれの利用者の方がかかりつけ医をお持ちでスタッフは医師との連携を図りながら適切な医療を受けられる様支援している。	主治医は、本人や家族が希望するかかりつけ医になっている。訪問診療や緊急の往診の対応、他科受診は、職員が付き添い、結果は家族に報告している。また、夜間帯の対応も医療連携が図れており、本人や家族の安心につながっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	毎朝の状態報告週3回の医療連携体制により適切に支援を受けられる体制をとっている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	入院時は速やかにホームでの生活状況を情報提供し、他職種との連携を図り安心した入院生活が出来る様に努めている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	入居の段階で重要事項説明書の中で重度化に対する指針、看取りに関する指針を説明し、その時には十分な話し合いが必要であることを説明している。	事業所は、「重度化対応に係る指針」「看取り指針」について入所時に重要事項説明書にて説明の上、利用者、家族に同意をもらっている。また、重度化につれ段階に応じてホームでできるケアについて関係者間で話し合いを持ちチームケアを実践、看取りについての体制も整備し取り組んでいる。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	事故発生、急変に備え基本的な流れはマニュアル化する事で戸惑う事がないようにしているが、定期的な訓練は行っていない。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>防災マニュアルを作成している。地域の方より緊急避難場所としての協力を頂いている。</p>	<p>避難訓練は、年2回消防署立会いのものと昼夜想定で実施されている。ホームは、緊急避難所にも指定されている。また、水害の場合は、竹工場を避難場所に指定するなど協力体制が構築されている。地域の高齢化は否めないため、運営推進会議で訓練の状況報告し、今後市営住宅の若者世帯にも協力依頼を考えている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人格を尊重し言葉かけ等、その人のプライドを損ねないよう言葉かけに配慮している。	入職時に接遇マナーについて、初任者研修（基礎研修）を受けている。尊厳を持ちプライバシーに配慮することの大切さを勉強会や職員会議などで周知している。特に、言葉使いには利用者のプライドに配慮し、失礼のないよう職員教育を徹底している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の援助の中でコミュニケーションをとり希望が自然と出てくるように声かけや、傾聴に努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりが出来る範囲で自分の生活を段取りそのペースが保てるように援助している。100%ではないが、その方らしく生活が出る様に努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	更衣時はその方の意向に沿ったもの出来る様に声かけしている。必要時は移動美容室の利用も行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	下ごしらえや、台拭き、片付け、洗濯等、できる事は参加頂いている。	菜園でピーマン、じゃがいもなど収穫し食卓を賑わせている。ラッキョウ漬、梅干し作りは毎年実施している。また、食器洗いをされる利用者があるほか、おしぼりの準備、ゴマすり、皮むきなどの手伝いをもらっている。外食は家族と楽しめるよう支援し、また花見時期は弁当を持参し行事食も楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分摂取量を記録しスタッフ間で情報を共有している不足がある時は代替えを準備し補えるように援助している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	声かけにて一緒に洗面所に立ち口腔ケアを援助している。その方に必要な口腔ケア用品を準備している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	状況に合わせてトイレ誘導を行いトイレでの排泄を援助している。	ひとり一人の排泄リズムをチェック表などで把握し、転倒リスクの高い方などには、センサーマットを活用、安全な移動や排泄動作ができるよう工夫している。また、プライバシーにも十分に配慮するなど、なるべくトイレでの排泄を促し個別対応による排泄の自立支援をおこなっている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	適度な水分摂取、運動、食事形態の工夫を個々に応じて支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	一人ひとりの希望やタイミングを出来るだけ合わせて入浴を楽しむことが出来る様に援助している。また体調がすぐれない方へは、清拭を行うなど身体清潔の保持に努めている。	本人の希望やタイミングを図り入浴が楽しめるよう配慮している。また、入浴剤を活用して入浴も楽しんでいる。状態に応じ安全確保のために異性介助も実践している。重度化もあるが、浴槽への移動は二人介助、足浴介助もしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	リビングのソファや、居室などご自分の体調や気分合わせて過ごしたい所で、自由にその日を過ごして頂いている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	症状の変化に配慮し主治医との連携を密に服薬の支援に努めている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者さんのその日の体調に合わせて季節感を感じれるように、散歩、グランドゴルフ、ドライブ、ピクニック、又、花植え、畑作りなど手伝って頂いたり、気分転換の支援にとめている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	季節ごとにドライブやピクニック、自宅訪問など行っている。ご家族で出かけられることもある。	日頃は、庭でグランドゴルフをしたり、菜園や花壇の水やり、日光浴をしたりして日常生活を楽しんでいる。たまには散歩もすることがあるが、一緒に自宅訪問ドライブしたり、家族との外出も積極的に支援もしている。また、花見や外食もして気分転換や季節感が得られるよう配慮している。	
50		職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を使う事は普通の事とスタッフは捉えている。使用時は家族と連携の中でお金を使えるように支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	電話をかけたいと希望があればその都度対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>壁画や、季節の花を飾り季節感を感じてもらっている。居室、リビング、廊下など照明の調整、テレビの音量、空調に配慮している。入居者様からの要望にも応えられる様に努めている。</p>	<p>玄関には、生花が飾られ壁には、押し花飾りや行事や外出先での写真が掲示されている。ホームは開放感あふれる立地にあり、自然の採光や空気感が心地よく、リビングから移り変わる田園を眺めたりマッサージ器を使用したリ、浮腫軽減のため足のせ台に挙上している。また、それぞれソファでくつろぐ利用者もあり居心地よく過ごせている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>リビング、ダイニングにご自分の決められた場所があり、思い思いに過ごして頂いている。となりのユニットにお互い自由に行き来できる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人様の使い慣れた物を居室に持ってきて頂いている。写真を飾ったり、明るい居室作りに努めている。本人様の動きやすい配置に配慮している。</p>	<p>ベット、整理ダンス、洋服掛け、クローゼット、洗面台が設置しており、家族写真、仏壇、位牌、補聴器乾燥器など馴染みのものを持ち込んで居心地よく過ごしている。また、居室でお茶が楽しめるよう急須や湯のみの準備がしてある利用者もいる。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>お一人おひとりの行動の状況に合わせて安全な物品配置等に配慮している。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない